

Back Number

本論文は

世界経済評論 2024 年 9/10 月号

(2024 年 9 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

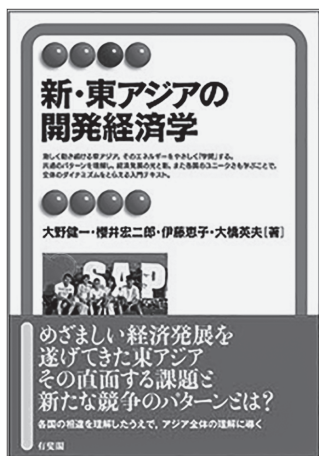
Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン販売

新・東アジアの 開発経済学

国際貿易投資研究所客員研究員 朽木 昭文



〔著者〕

大野健一（おおの けんいち）

政策研究大学院大学名誉教授

櫻井宏二郎（さくらい こうじろう）

専修大学教授

伊藤恵子（いとう けいこ）

千葉大学教授

大橋英夫（おおはし ひでお）

専修大学教授

〔発行〕有斐閣，2024年4月

〔判型〕四六判，382頁

〔定価〕本体2700円＋税

Chat GPTの生成AI革命があり、「権威主義体制」のプーチンのウクライナ侵攻による地政学的リスクが発生した。これが世界経済の歴史的な転換点となり、東アジアの激動を学び直す必要性が生まれた。本書は、そのタイミングで生まれた絶好の入門書となる。

（1）本書を貫くテーマとなる3つの視点

第1に、貿易、投資、援助、情報、人的交流を通じるネットワークの地域メカニズムの構造や動態を解明する。第2に、経済学だけではなく、歴史的・文化的・政治的視角を取り入れ

る。第3に、東アジアの成長の共通パターンの一般分析と「多様性」の視点としての国別分析の2つである。

本書での分析でカギとなる概念の1つが「グローバル・バリューチェーン」である。ここで、伝統的な雁行形態の開発戦略ではなく、先行国が歩んだ長い道のりを省略した「かえる跳び」戦略がある。

（2）デジタル化と政治体制

本書は、1987年発行の本を全面的に書き直した。その特長が第4章の「デジタル化」と第5章の「政治体制」にある。生成AIによるデジタル化は光と影をもたらす。影の部分の環境と所得格差の問題については、SDGs（持続可能な開発目標）の達成による対応がある。政治体制について、「開発独裁」と呼ばれる権威主義開発体制は、スターリンや毛沢東の体制とは異なると指摘する。「良質の」開発独裁の5条件の1つが、政策を適切に実行する有能な「テクノクラートの存在」である。

（3）多様性に対する国別の課題

経済の課題と対策を地域ごとに指摘する。日本の課題として少子高齢化と雇用システムがある。中国の課題として、習近平氏の「共同富裕」による規制の強化がある。韓国・台湾・シンガポール・香港のいわゆるNIEsに関しては、「輸入代替」と「輸出志向」の観点から歴史分析し、それぞれの特有の課題を指摘する。マレーシアなどの先行ASEANの課題は「中所得のわな」からの脱出であり、後発ASEANは「グローバル・バリューチェーン」への参加を課題とする。

南アジアのインドは、中国に代わる世界の工場の可能性がある。そのモディ首相の政策は、製造業の活性化を目指す「メイク・イン・インド」であり、幼稚産業保護による輸入代替工業化政策である。インドは、大国志向の政策が外資誘致に成功するかを課題としている。

本書は、入門書としての教科書として書かれている。しかし、学生にはもちろん幅広い層の人にとって、単なるテキストを超えた激動の先を予測するための教科書となる。

（くちき あきふみ）